

をどう創るか——経済力、人材育成：



(株)N.S Create.
丹野伸哉氏



は、地域にしかないものを知りたい、一方、地域の方々は食をはじめアートなどの文化を気軽に発信してくれる場所がないと思っています。地域資源を発信しホテルで交流が生まれれば、地方の文化創りに少しでも貢献できると思っています。

OF HOTELでは、企画、事業提案からスタート、事業主から運営委託を受け、建物の運営も行っています。清月記さんのさまざまな事業も近いものがあるのではないかと感じていますが。

「人生を前向きに過ごせる
か」テーマに事業提案

「人生を前向きに過ごせ
か」テーマに事業提案

迎賓館とイタリアンレストラン、旅館業の土湯別邸里の湯、懷石料理東洋館など、スガワラホールディングスとして、創業時から、お客様の人生をより豊かにするためをテーマに、さまざまな事業を展開しています。大切な方を亡くされた方が、そこから人生をいかに前向きに過ごせるかという視点で考えながらセレモニーの大切さを提案しています。

「挑戦する仲間を増やしていくこと」

菅原 次の仙台を創っていくための視点をお願いします。

丹野 もつと仙台を良くしていくうという、既成概念を打破できる、クリエイティブな視点で物事を考え、挑戦する仲間を増やしていくことが、とても重要だと思います。

菅原 大変、貴重な話を頂きありがとうございました。前向きに、挑戦し続ける仲間を増やしていくことは、今後の仙台にとってとても大切なことだと思います。さらなるご活躍を期待しています。

「生活するように滞在する」
新感覚のO.F.HOTEL

菅原 2022年7月1日、青葉
区花京院にこれまでとはひと味違つたホテル「O.F.HOTEL」を開業、連日、多くのお客様が訪れて います。
丹野 築47年のビジネスホテルを一棟丸ごとリノベーションした新しいたちのホテルです。

これまでのホテルは、ビジネス、シティ、リゾートというくくりのものしかありませんでしたが、O.F.HOTELは、生活するように滞在するというライフスタイルホテルを軸に、まだまだ知られていないローカルの魅力、東北の豊かな新しい地域資源の魅力を継続的に発信することをコンセプトにして います。

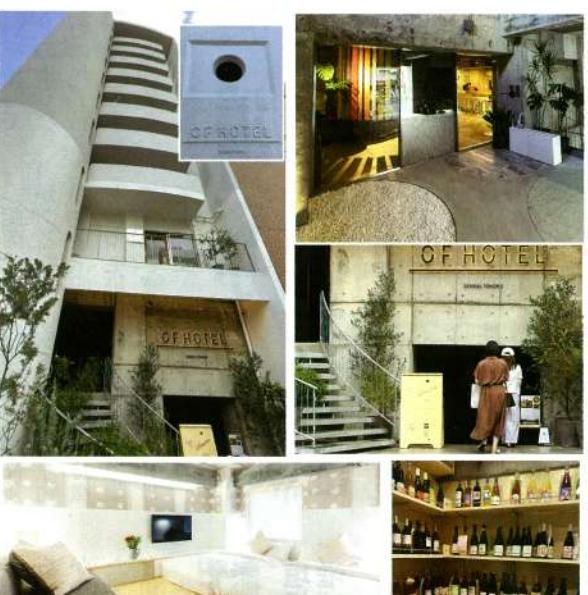
菅原 想定しているお客様は、

丹野 仙台駅から徒歩6分の立地を生かし、多くのビジネスマンに利用してほしいと思っています。仕事柄移動が多く、新しい情報の受発信力も高いので、東北の新しい魅力を通して全国、そして世界に広がってほしいと思っています。

菅原 ホテルを運営する㈱N.S Create（エヌズクリエイト）の事業概要を教えて下さい。

丹野 当社は、中古住宅やマンション、店舗、事務所など中古建築物の再生とリノベーションを通して、その時代のライフスタイルに合ったスピード感ある新しい提案と実践を通して、社会や地域、施主の課題を解決していく企業です。基本事業は不動産の最適化です。

「自分たちが暮らすまちをクリエイティブで豊かにするため」をテー



【OF HOTEL】客室内に靴を脱いでくつろげる小上がり、その入り口には茶室で用いられるにじり口があり、独自の建築や意匠で注目を集めます。10階建て。55の客室は14種類、一般的なタイプのほか、書斎用の部屋や、最大6人宿泊できる客室もある。仙床板に岩手県産の栗の木を使用、照明フードに白石和紙を用いるなど、東北らしさにこだわった。2階ラウンジは24時間オープン。通常はチェックイン、チェックアウトの前後のデスクワーク利用を想定する。東北出身の芸術家の作品を展示し、東北の魅力発信に力を入れ、今夏は、青森ねぶた師が制作した、照明器具を設置している。

エントランスではプロジェクションマッピングを行い、庭園をテーマに東北の自然をモチーフにした約40パターンの映像を映し出す。

仙台の 次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役
菅原 啓太 氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年1月1日より仙台青年会議所理事長。2022年1月1日より日本青年会議所総務委員長。趣味は旅行。

仙台を拠点に、日本国内ばかりでなく、世界市場を見据えながら事業を展開している若手経営者層に、活動力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれから時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、株清月記の菅原啓太専務が切り込んでいきます。